

おうめ観光戦略の策定について

1 おうめ観光戦略策定の背景と目的

市は、これまでおうめ観光戦略（2020－2022）にもとづき、御岳山・御岳溪谷エリアの特徴や観光資源を最大限活用し、自然体験へのニーズが高い都心ファミリー層および外国人来訪者の集客に取り組んだ。SNSを活用した情報発信やインバウンド向けの多言語案内ツールの整備、古民家を活用した新たな観光資源の整備などを実施した。

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、観光産業は多大な影響を受け、国内外の観光客数は一時大きく減少した。

徐々に観光客数は回復しつつあるが、感染症の流行を契機に観光客の意識や観光形態に大きな変化が起きている。

このような新たな社会情勢や変化に対応するため、「おうめ観光戦略」（以下戦略という。）を策定する。

2 戦略の位置づけ

本戦略は、令和4年度に策定された「第7次青梅市総合長期計画（以下長計という。）」を上位計画とし、本市における観光振興に関わる個別計画として位置づける。

3 戦略の方向性

長計に位置づけた4つの施策の方向性「持続可能な観光地づくりの推進」、「インバウンド対応の推進」、「市民、事業者と一体となったプロモーションの展開」、「観光資源の高付加価値化による収益力の向上」をベースに検討する。

4 計画期間

令和6（2024）年度から令和10（2028）年度まで（5か年）とする。

5 策定体制

市内において、横断的に戦略策定に必要な事項の調査および検討を行う必要があることから「おうめ観光戦略検討委員会」を設置する。

また、市民、観光事業者および有識者等の意見を幅広く取り入れることを目的として、「おうめ観光戦略策定懇談会」を設置する。